

月日の流れは早く、結城哲彦さんのご逝去から既に一月以上が経過いたしました。ゼミの後に何人かで集まって食事に行っていた時期がありましたが、結城さんはほぼ毎週参加されていました。食事会では、結城さんはいつも私にとって刺激のあるお話をしてくださいました。その中で学んだのは、何かをやるならば思いっきりやるしかないということです。

また、結城さんは自分の意見をいつもストレートにおっしゃっていましたが、単に率直な気持ちをぶつけるのではなく、言葉の選び方に気を配っており、いつも礼儀正しく意見を伝えていたと感じておりました。強い主張をお持ちでしたが、その主張に至るまでの道が素直で、筋の通った道を選択される人だったということです。やはり、74 歳から大学院に通って、修士課程も博士課程も取得しようとする人は、揺るぎない信念をお持ちなのだということを強く感じております。

最近、結城さんが執筆した本をご恵贈いただきました。その中には「学習の道を頑張りましょう」というメッセージが書かれていました。私は、結城さんの思い出とその言葉の両方を心に刻み、全力で研究に邁進したいと思います。